

特定健診・特定保健指導をご存じですか

文=竹内 志保(保健師)

羽幌町の国民健康保険(国保)はどうなっているの？

国保の受診者の中で多い病気は、高血圧、脂質異常症、高脂血症、糖尿病、肝臓病、高尿酸血症(痛風)、虚血性心疾患、狭心症や心筋梗塞などで、男女とも高血圧がトップです。

また、年齢が上がるにつれて生活習慣病で治療をする人は多く、羽幌町でも60歳代からの受診が増えています。しかし、この年齢になるまでの間に、健診や人間ドックなど

平成20年度から、みなさんがそれぞれ加入している医療保険者(国保、健保組合、共済など)が実施主体となり、特定健診・特定保健指導が始まりました。特定健診ではメタボリックシンドロームとその予備軍を見つけて、特定保健指導で生活習慣病を予防できるプログラムが組まれる仕組みになっています。

生活習慣病と医療費

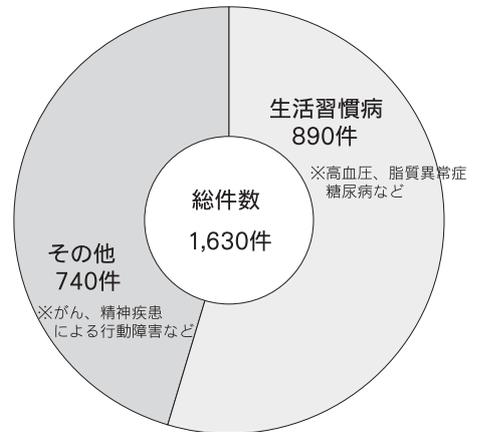
生活習慣病の治療にかかる費用が医療費全体に占める割合の全国平均は約3割。羽幌町の国保加入者でみると約8割ですので、全国平均と比べても大幅に多いことがわかります。(グラフ参照)

高血圧や糖尿病など複数の病気を抱えると、心臓病や脳梗塞を起こしやすくなります。

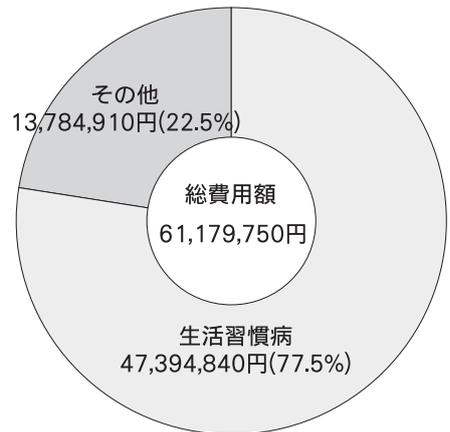
で病気の芽を見つけ出し予防すれば、治療しなくても済む「治療を始める年齢を遅らせることができる」かもしれません。

平成20年5月の国保診療医療費分析
(件数・医療費からみた羽幌町の疾病状況)

【件数別グラフ】



【費用別グラフ】



年に1度は健診を

町では特定健診を実施します。健康寿命を延ばし、医療費の増加を抑えるためにも年1回の健診を受け、生活習慣病を早期に予防しましょう。

期日
(離島地区)
6月23日(火)〜24日(水)

す。重症化すると医療費も高く、入院や手術となれば一人当たりの費用は数百万円となりますので、家庭での負担も大きくなります。

(市街地区)
7月17日(金)〜19日(日)

対象者

- ・20歳から74歳までの羽幌町国民健康保険加入者
- ・長寿医療制度加入者
- ・生活保護受給者
- ・医療保険未加入者

詳しくは各家庭に配られるチラシでご確認ください。また、国保以外の医療保険加入者や被扶養者で町の健診を受けたい場合は、すこやか健康センターへご連絡ください。

